

# KVK 浄水器専用シングルレバー式シャワー付混合栓 施工説明書1

**施工業者様へ** 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
この施工説明書と取扱説明書を必ずご使用になるお客様にお渡しください。

## 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない**禁止**の内容です  
この絵表示は、必ず実行していただく**強制**の内容です

<b>警告</b>	<p>湯水を逆に配管しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給湯配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p>給湯温度は85°Cより高温で使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>85°Cより高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。</p> <p>やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動をおさえた配管設置にしてください。</p>

<b>注意</b>	<p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>器具は、ぶつたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>禁止</p> <p>塗装面が傷つき、剥がれによりけがをするおそれがあります。</p>	<p>シャワーヘッドの浄水出口は清潔を保つため、汚れた手で触らないでください。</p> <p>禁止</p> <p>飲料水に適さない水が流出し、体調を損なうおそれがあります。</p>
-----------	---	---	--

1 ページ

<b>注意</b>	<p>配管接続部をテーパねじに接続しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>テーパねじに接続すると、接続部がゆるんだり、パッキンが切れたりして、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>塗装の表面が割れた場合は使用しないでください。</p> <p>けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。</p>	<p>水道水および飲用可能な井戸水を使用してください。</p> <p>水道水および飲用可能な井戸水以外の水を使用すると、故障や水漏れの原因になったり、体調を損なうおそれがあります。</p>
	<p>止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。</p> <p>点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小型電気温水器(即湯器)等に給湯ホースを接続する際は、ステンプレキ管等を介してください。</p> <p>高温の熱により給湯ホースの寿命が短くなり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>凍結が予想される際は、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。</p> <p>凍結を防止しないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

## 取り付け前に

- ① 使用水圧 (A= (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失))
  - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25°C 給湯器温度調節: 高温 吐水温度: 42°C ハンドル全開) (比例制御式) 最低必要水圧: A+0.10MPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
  - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ (給湯・給水圧力) 最低必要水圧: A+80.0kPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② レバーハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするが、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、安全のため60°C以下の設定をおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量および吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は改造(加工および接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ シャワーホースを伝って水がキャビネット内に侵入するおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。
- ⑪ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

2 ページ

## 取り付け完成図と各部の名称 / 分解図

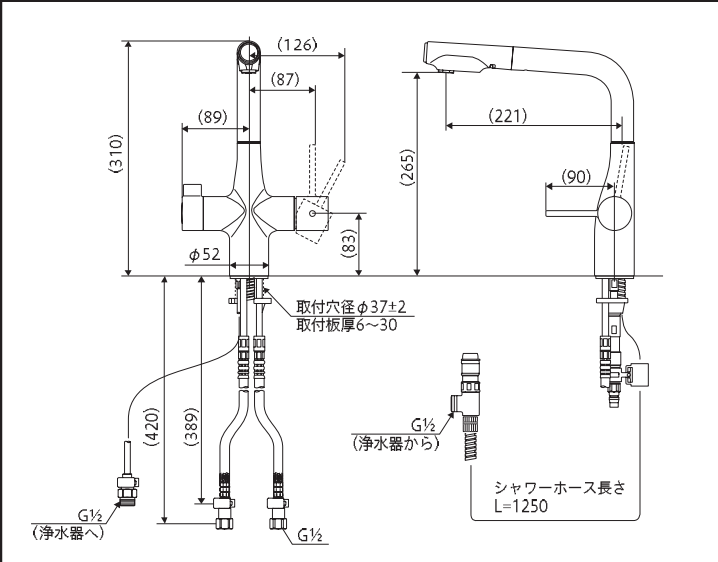
取り付け完成図と各部の名称 分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

1 混合栓レバーハンドル	22 シートパッキン
2 化粧カバー	23 馬蹄座金
3 固定ナット	24 ばね座金
4 カートリッジ	25 ホースガイドA
5 カートリッジ	26 プラグ
6 ハンドル金具	27 キャップ
7 浄水レバーハンドル	28 下げ止めリング
8 ねじ	29 カプラーユニット
9 キャップ	30 逆止弁
10 本体	31 シャワーホース
11 バイパス Spacer	32 ホースストッパー
12 吐水口	33 ホースガイドB
13 小ねじ	34 ブレードホース
14 ホースガイド	35 保護キャップ
15 ストレーナ	36 クイックファスナー
16 シャワーヘッド	37 ジョイント
17 クリップ	38 パッキン
18 ストレーナ	39 ジョイント
19 シャワーフェイス	40 減圧プッシュ
20 ストレーナ	41 水受けトレー
21 吐水金具	

3 ページ

## 寸法図



## 取り付け手順 1

- 1 給水管内の清掃  
配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。
- 2 止水栓(別売)の取り付け  
給湯管と給水管の間隔は200mmで取り付けます。止水栓はストレーナ付が最適です。

ストレーナ付止水栓

止水栓(別売)

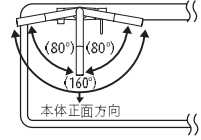
4 ページ

## 取り付け手順 2

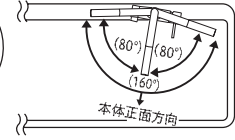
### 3 本体の取り付け

取り付け位置によっては吐水口先端がシンクから飛び出す場合があります。(施工例1)  
正面位置をシンク内側へずらして調整することは可能です。(施工例2)  
位置調整は、ブレードホースが施工できる範囲で行ってください。

施工例1  
(飛び出した例)



施工例2  
(正面の角度を内側へずらした例)



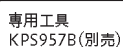
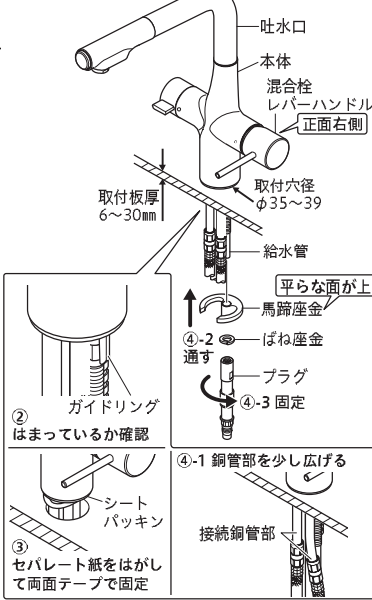
### 4 本体の固定

- ① 本体からプラグ、ばね座金、馬蹄座金を取りはずします。
- ② 本体にガイドリングがはまっていることを確認してください。
- ③ 取り付け穴周囲の汚れを取り除いたあと、本体に貼り付けてあるシートパッキン下面のセパレート紙をはがし、混合栓レバーハンドルが右側にくるように本体を差し込みます。
- ④ ブレードホースの接続銅管部を少し広げ、給水管に平らな面を上に向けた馬蹄座金とばね座金を通し、プラグにて固定します。

【お願い】プラグは確実に締め付けてください。

#### 【△注意】

- ・厚さ30mmを超える取付板には取り付けしないでください。これよりも厚い板に取り付けた場合、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・セパレート紙は必ずはがしてください。セパレート紙をはがさず固定した場合、本体が緩んだり、かたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・銅管部を曲げすぎないでください。曲げすぎると銅管部がぶれて亀裂や破損を起こし漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・座付きナット締め付け時レバーハンドルや吐水口を持って締め付けますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。水栓の表面に工具を掛ける場合は必ず柔らかい布をあて、本体に直接工具をかけないでください。傷がつくおそれがあります。
- ・プラグの締め付けには専用工具KPS957B(別売)で行うことをおすすめします。締め付けトルクの目安は約800~1000N・cmです。しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、かたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



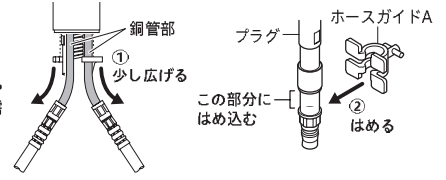
5 ページ

### 5 ホースガイドAの取り付け

銅管部を少し広げて同相のホースガイドAをプラグにはめ込みます。

#### 【△注意】

- ・銅管部を曲げすぎないでください。曲げすぎると銅管部がぶれて亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

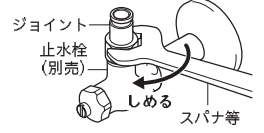


### 6 止水栓との接続

① ジョイントを止水栓に接続します。

#### 【△注意】

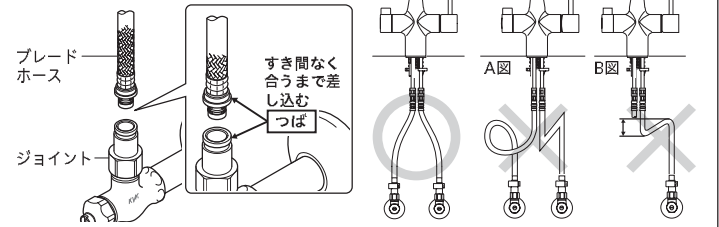
- ・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
- ・薄肉の接続管(ニップル等)にはジョイントを接続しないでください。
- ・パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・止水栓がしっかり固定されていることを確認してください。固定されていないとブレードホースが抜け、漏水の原因となります。



② ブレードホースのつばとジョイントのつばがすぎ間なく合うまで差し込んでください。

- 【△注意】・ブレードホースはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
- ・上下戻り配管はやめてください。(B図)ウォーターハンマーなどでブレードホースが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
- ・ブレードホース同士などへの不要な接触は避けてください。摩擦による外傷で、ホース性能の劣化の可能性があります。

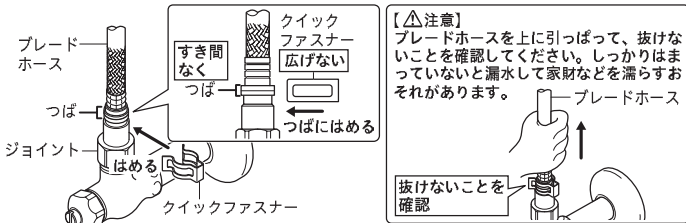
【お願い】ブレードホースは切断しないでください。



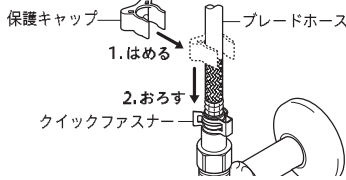
6 ページ

## 取り付け手順 3

6 ③ クイックファスナーをブレードホースとジョイントのつばにはめます。

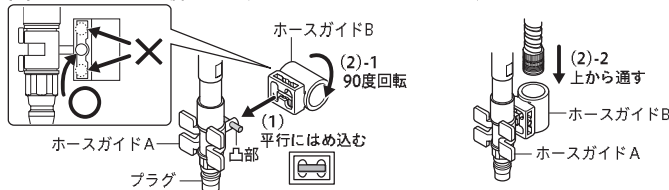


④ クイックファスナーに保護キャップをはめます。この時、保護キャップはブレードホースにはめてから、クイックファスナーまでおろします。



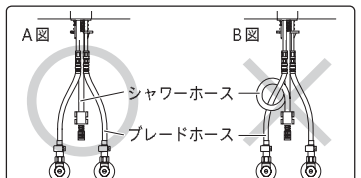
### 7 カプラーユニットの取り付け

① (1) 同相のホースガイドBをホースガイドAの凸部と平行になるように、ホースガイドAにはめます。(2) ホースガイドBを90度回転させ、シャワーホースを上から通します。



#### 【△注意】

- 固定した際、シャワーホースがA図のようにまっすぐ垂れ下がるようにしてください。B図のように、ブレードホースに引っ掛けたり、ひねったりしないでください。シャワーホースが破損し漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



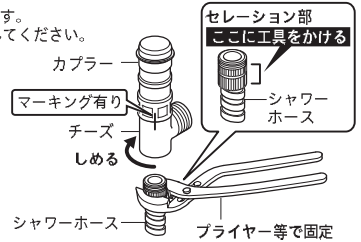
7 ページ

7 ② チーズとカプラーの接続が緩んでいないか確認してください。(確認用の赤色マーキング有り)

- ・緩んでいる場合はカプラーを手締め後、約30度増し締めしてください。(締め付けトルクの目安は約100N・cm)
- ・カプラーユニットとシャワーホースを接続します。カプラーユニットを手締め後、約30度増し締めしてください。(締め付けトルクの目安は約100N・cm)

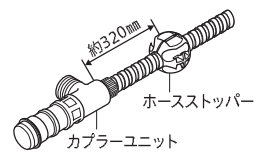
#### 【△注意】

- ・カプラー等の接続の際は、以下の内容に注意してください。漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ※カプラーの締め付け不足や締め付け過ぎ
- ※シャワーホースのセレーション部に以外に工具をかけない
- ※シャワーホースはねじらない



### 8 ホースストッパーの取り付け

シャワーホースにホースストッパーを取り付けます。ホースストッパーの中心をカプラーユニットのホース接続面から320mm程度の位置に合わせ、ホースストッパーが「パチン」というまで押し込んでください。取り付け後、容易にはずれないことを確認してください。

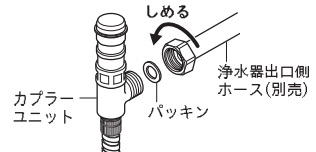


### 9 浄水器出口側ホース(別売)との接続

カプラーユニットに浄水器出口側ホースを接続します。

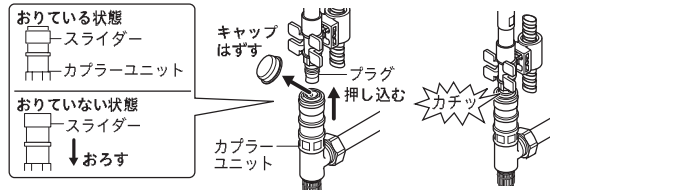
#### 【△注意】

- ・接続は適切な工具(モンキー等)で締め付けてください。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水のおそれがあります。



### 10 シャワーホースの接続

① カプラーユニットのキャップをはずし、スライダーを下におろしてから、本体のプラグへカチッと音がするまで押し込みます。(スライダーがすでにおりている場合もあります。)

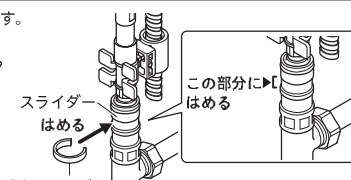


8 ページ

404794.00

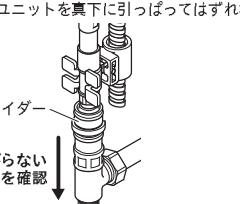
取り付け手順 4

10/2 ② 下げ止めリングをスライダの下にはめ込みます。  
**【お願い】**  
 下げ止めリングは必要以上に広げないでください。樹脂製のため破損のおそれがあります。



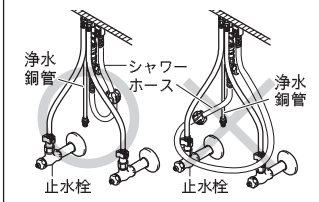
スライダーはめる  
 この部分にはめめる  
 下げ止めリング

③ カブラーユニットのスライダーが下がらないことを確認してください。  
 ④ カブラーユニットを真下に引っばってははずれないことを確認してください。



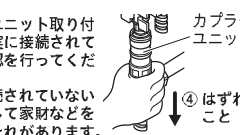
スライダー  
 ③ 下がらないことを確認

**【△注意】**  
 シャワーホースは止水栓や浄水銅管等につっかけないで、給水・給湯ホースの間にぶら下げてください。シャワーホースが引き出しにくくなったり、ホース損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



浄水銅管 シャワーホース 浄水銅管  
 止水栓 止水栓

**【△注意】**  
 カブラーユニット取り付け後、確実に接続されているか確認を行ってください。確実に接続されていないと、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

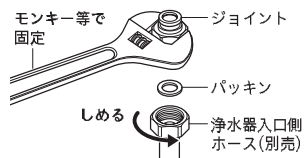


カブラーユニット  
 ④ はずれないこと

シャワーホースがスムーズに引き出せることを確認してください。引っかかりなどがある場合は、ホースストップの位置やシャワーホースの向き等を調整してください。

12 浄水器入口側ホース(別売)との接続

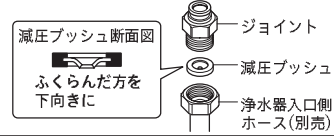
① ジョイントに浄水器入口側ホースを接続します。その際、ジョイントをモンキー等で固定し締め付けてください。



モンキー等で固定  
 ジョイント  
 パッキン  
 しめる  
 浄水器入口側ホース(別売)

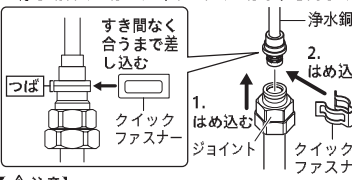
**【△注意】**  
 接続は適切な工具(モンキー等)で締め付けてください。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。

[給水圧力0.35MPa以上0.75MPa未満の場合]  
 浄水器入口側ホースとジョイントの間にあるパッキンの代わりに、減圧プッシュ(同梱品)を取り付けてください。



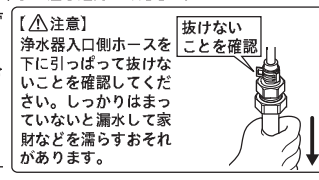
減圧プッシュ断面図  
 ふくらんだ方を下向きに  
 ジョイント  
 減圧プッシュ  
 浄水器入口側ホース(別売)

② ジョイントを浄水銅管にはめ込み、クイックファスナーを浄水銅管とジョイントのつばにはめます。浄水銅管のつばとジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。



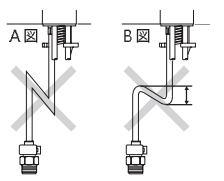
すき間なく合うまで差し込む  
 浄水銅管  
 1. はめ込む  
 2. はめ込む  
 クイックファスナー ジョイント クイックファスナー

**【△注意】**  
 浄水器入口側ホースを下に引っばって抜けないことを確認してください。しっかりとまっすぐにしないと漏水して家財などを濡らすおそれがあります。



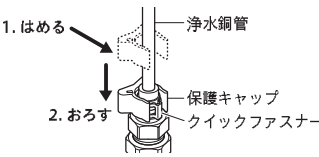
抜けないことを確認

**【△注意】**  
 ・浄水銅管はなるべくゆるやかに曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)  
 急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。  
 ・上下戻り配管はやめてください。(B図)  
 ウォーターハンマーなどで浄水銅管が振動した際、屈曲部から水漏れ発生の原因となります。  
 ・浄水銅管は切断しないでください。



A図 B図

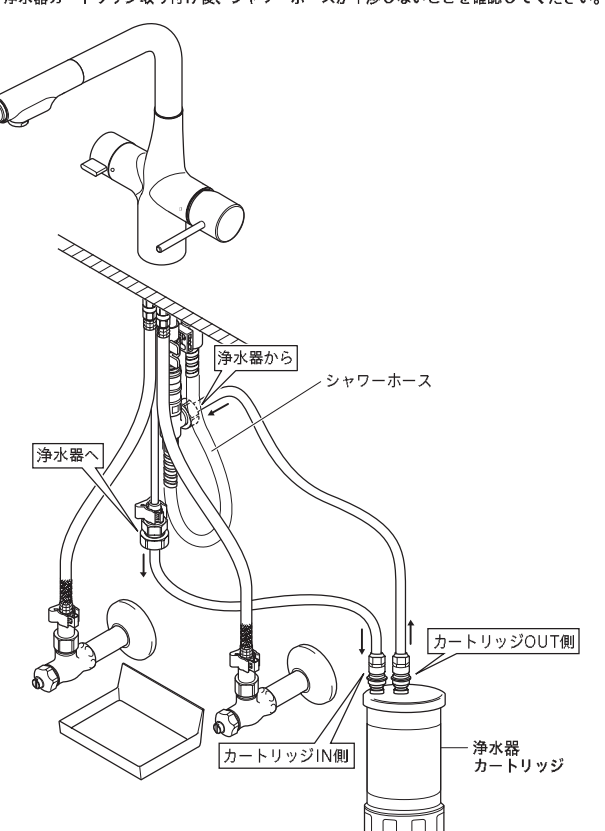
③ クイックファスナーに保護キャップをはめます。この時、保護キャップは浄水銅管にはめてから、クイックファスナーまでおろします。



1. はめる  
 2. おろす  
 浄水銅管  
 保護キャップ  
 クイックファスナー

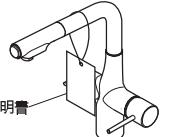
取り付け手順 5

13 浄水器との接続  
 浄水器セットの施工説明書を参照してください。水栓側の浄水器カートリッジとの接続部は下図のようになります。  
**【△注意】**・IN/OUTは逆に取り付けしないでください。  
 ・浄水器カートリッジ取り付け後、シャワーホースが干渉しないことを確認してください。



浄水器から シャワーホース  
 浄水器へ  
 カートリッジOUT側  
 カートリッジIN側  
 浄水器カートリッジ

14 タグ説明書の取り付け  
 タグ説明書「カラー水栓のお手入れ方法」を製品に吊り下げてください。



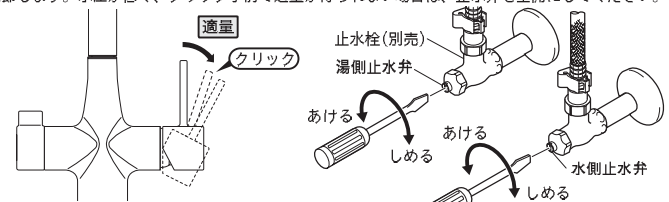
タグ説明書

取り付け後の点検と清掃

**通水確認**  
**【△注意】**・水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
 ・浄水器の吐水確認は、浄水器に同梱の説明書に従ってください。

**シャワーフェイス・ストレーナ清掃のお願い**  
 シャワーヘッドのシャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がつかりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなかったりしますので、施工後必ず清掃してください。  
 ➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

**止水栓による流量の調節方法**  
 止水栓による流量の調節方法は下記の方法で行ってください。混合栓レバーハンドルのクリック手前で適量(湯側・水側それぞれが5L/min程度)になるように止水弁で調節します。水圧が低く、クリック手前で適量が得られない場合は、止水弁を全開にしてください。



適量  
 クリック  
 止水栓(別売)  
 湯側止水弁  
 あげる  
 しめる  
 あげる  
 しめる  
 水側止水弁

**故障かなと思ったら…**  
 修理を依頼される前にお確かめください。  
 ➡ 取扱説明書「故障かなと思ったら…」参照

[水栓本体内部のメンテナンスをする場合]  
**【△注意】**・修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。  
 ・メンテナンスは、本体を保持しながら行ってください。  
 ・シャワーヘッドや吐水口やレバーハンドルを持ってはずしますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。